

出演者プロフィール

牧野 ^{ひろし} 裕史

国立音楽大学楽理科卒業。1998年、渡仏。
 パリ・エコール・ノルマルにおいてピアノと
 室内楽の最高位ディプロムを取得。伴奏科首席卒業。
 その後、同校及びスコラ・カントルム、
 ポワシー・コンセルヴァトワールの各声楽クラスの
 アシスタント及び、伴奏者を勤める傍ら、
 ヨーロッパ各地で多数のコンサートを開く。
 その他、現代曲の新作発表会、映画音楽の録音も行い、
 また、デュシャープル、アントルモンのマスタークラスを受け、フランス国内にテレビ放映
 される。UFAM 国際コンクール室内楽部門第2位。9年のフランス滞在後、2007年に帰国。
 現在、ソリスト、伴奏者、コレペティとして活躍中。



牧野 ^{しょうこ} 昌湖

国立音楽大学ピアノ科卒業。
 在学中に多摩フレッシュ音楽コンクールピアノ部門
 第3位受賞。パリ・エコール・ノルマル ピアノ科、
 (特待生として)室内楽科、最高位ディプロム取得。
 在仏8年の間にフランス各地でソロ、室内楽の
 コンサートを多数行うと共に、
 コンセルヴァトワール (Vaucresson) の
 ピアノ科講師として勤務。現在、ソリスト、
 ピアノ講師として活動。



ピアノデュオ(4手連弾)について

1台のピアノを2人並んで弾きます。
 右側(高音)が主にメロディを、左側(低音)が伴奏を担当します。
 4本の手で演奏するので、1人(2本)で弾くよりも、よりゴージャスな
 響きが得られるため、多くの作曲家が自身のオーケストラ曲をピアノ連弾
 に編曲しています。

ピアノデュオ おしゃべりコンサート

解説付きで楽しむ
 気軽に身近なクラシック



2018年6月10日(日) 14時開演

武蔵浦和コミュニティセンター
 多目的ホール(サウスピア9階)





プログラム
〈第1部〉



サン＝サーンス/動物の謝肉祭

- I、序奏と堂々たるライオンの行進
- II、雌鶏と雄鶏
- III、ラバ
- IV、カメ
- V、ゾウ
- VI、カンガルー
- VII、水族館
- VIII、耳の長い登場人物



- IX、森の奥のカッコウ
- X、大きな鳥籠
- XI、ピアニスト
- XII、化石
- XIII、白鳥
- XIV、終曲



～休憩(15分)～

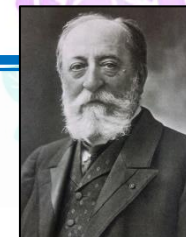
〈第2部〉

- 1. スメタナ 交響詩「モルダウ」
- 2. ブラームス ハンガリア舞曲 第5番 嬰へ短調
- 3. ドヴォルザーク スラヴ舞曲 第10番 木短調
- 4. 日本の歌(夏編)
夏は来ぬ～茶摘～浜辺の歌～かたつむり～夏の思い出～ふるさと
- 5. ピアソラ リベルタンゴ
- 6. ピアソラ アレグロ・タンガービレ

作曲家一口メモ

サン＝サーンス (1835-1921)

フランスの作曲家。
音楽だけでなく、文学、語学、天文学、生物学、考古学、幾何学にも優れたマルチタレント。

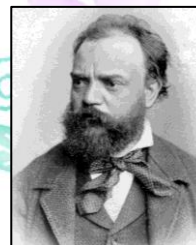
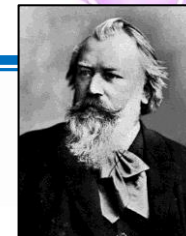


スメタナ (1824-1884)

チェコの作曲家。
チェコ最初の国民的大作曲家。ピアニスト、指揮者もこなせる多彩な音楽家。

ブラームス (1833-1897)

ドイツの作曲家。
地味だけれども、広くみんなに愛される大作曲家。



ドヴォルザーク (1841-1904)

チェコの作曲家。
スメタナの後輩でブラームスとは大の仲良し。
チェコで最も有名な作曲家。

ピアソラ (1921-1992)

アルゼンチンの作曲家。
タンゴ(ダンスの一種)にクラシックとジャズの要素を融合させたタンゴの革命児。

